



## 旭陵文化講演会で「animal welfare」について考えました。

普通科  
探究科

旭陵同窓会（本校の同窓会である。）が主催する旭陵文化講演会が、6月2日（金）に開催されました。講師は、昭和42年に本校を御卒業された岩野 敏郎 先生で、長年にわたって北九州市民に親しまれてきた到津遊園や、到津遊園閉園後に開設された到津の森公園において獣医師や園長として活躍されました。このたびのテーマは「動物園に未来はあるのか」で、到津遊園が閉園に至った経緯や、そののち到津の森公園として動物園が再開されるまでの取組についてお話いただきました。



海外の動物園の飼育の方法を紹介される岩野先生

到津遊園では、入園者数を増やすため、コアラなど話題性をもった動物を展示していましたが、一時的に増えた入園者もリピーターにはならず、すぐに減少してしまっただけです。到津の森公園として動物園を再開する際には、こうした課題を解決するため、空いたスペースに森をつくり、動物だけではなく四季を感じる公園として整備し、繰り返し来園していただける施設を目指したそうです。さらに動物の飼育方法を改善し、動物との共生を目指すanimal welfare（動物の福祉）にも配慮したそうです。およそ20年にわたって園長を務められてこられたそうですが、お話しになることの一つひとつが御自身の経験に裏付けられたものであり、在校生は先輩の言葉をしっかり受け止めることができたようでした。



岩野先生に質問する生徒

## 化学基礎等の授業において、ユニットカリキュラムを実施しました。

普通科  
探究科

普通科2年次の理系コースで履修する化学基礎及び自然科学科2年次で履修する理数化学の授業において、理科（化学）と数学科によるユニットカリキュラムを実施しました。化学基礎の授業では、測定した水素イオン濃度からpH（水素イオン指数）を決定できることを学びます。様々な水溶液のpHを決定するためには、数学Ⅱや理数数学Ⅱの授業で扱う対数を活用



$2 = 10^n$ と表したときの、nを求めよう！



演習問題に取り組む生徒

することが求められます。6月13日（火）から21日（水）にかけて、それぞれのクラスで実施したユニットカリキュラムでは、数学科の教員が対数を使うことの意義や計算方法について説明しました。2年次の数学Ⅱや理数数学Ⅱの授業では、まだ対数を扱う単元を学習していませんが、授業を終えるころには、対数を用いて様々な水溶液のpHを求めることができました。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。

## やまぐちサイエンスキャンプ2023に参加しました。

普通科  
探究科

6月10日(土)と11日(日)の2日間をわたって、山口大学吉田キャンパス等で開催されたやまぐちサイエンスキャンプ2023に、普通科の1年次生2人、2年次生1人、探究科の2年次生1人が参加しました。今年度のサイエンスキャンプは、**数学、物理、化学、生物**の4つの講座が開講され、本校の生徒は、**物理講座に1年次生が2人、生物講座に2年次生2人**が参加しました。オンラインで開催された1日目は、山口大学理学部の先生方が、実験等で必要な基礎的な内容を紹介されるとともに、参加した生徒がグループに分かれて翌日行う**観察、実験の打合せ**を行いました。2日目は、いよいよ山口大学吉田キャンパスでの実習です。前日にオンラインで学んだことをもとにして、**観察、実験に臨み**ました。物理の講座では、**画像を3Dで表示するための原理**を学ぶため、偏光板やレンズを用いて実験装置を完成させ、**スクリーン上で立体的に見える図形を映し出す**ことができました、**生物の講座**では、様々な種類のゾウリムシが移動する速さを測定し、**ゾウリムシの形状と移動する速さの関係**を考察し、発表しました。それぞれの講座には、本校生徒以外にも、岩国高等学校や山口高等学校等の生徒も参加していましたが、観察、実験を行いながら他校の生徒と交流し、大学進学後、**切磋琢磨しながらより深い知識や技能を身に付けていこう**と語り合うことができました。



画像が立体的に見える様子を観察する受講生



ゾウリムシの形状と移動する速度の関係について考察した結果を発表する本校の生徒

## 3年次生を対象とした、教育実習生による講話を実施しました。

普通科  
探究科

6月7日(水)の総合的な探究の時間(本校では、「NC A」と呼んでいます。)において、本校で教育実習に取り組まれた4人の先生方(すべて本校の卒業生である。)が大学生活等について、お話しくださいました。先生方からは、「自分には無理であると考え、取り組む前にあきらめ、自分の可能性をつぶしてはいけない。自身の課題を明らかにし、**どうすればできるようになるか考えることにより、よりよい結果につなげることができる。**」や「東京にある大学に進学すると、大学での学び以外にも**多くの刺激を得ることができる。**」



東京で経験した新たな体験を紹介



お話をいただいた4人の先生方

「大学では、**常識と知っていることを疑ってみることが大切である。**これにより、しっかり練り上げた自分の意見をもてるようになる。」など、大学に進学した後の意識の持ち方についてお話がありました。また、「大学に進学するためには、**一日7時間ある授業を無駄にはしてはいけない。**さらに、模擬試験を受けただけでは意味がない。必ず復習すること。」など、これから3年次生に努力してほしいことも話されました。教育実習は2週間と短い期間でしたが、**本校の卒業生として、後輩に貴重なメッセージを残してくれました。**

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。